

令和7年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 早鞆 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、数学に関する調査）」、文部科学省が指定した日（4月14日から4月17日の間）に「教科（理科に関する調査）」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知りたいとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

I. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

教科に関する調査（国語、数学、理科）

- | |
|---|
| ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 |
| ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 |

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査

- | |
|--------------------------------|
| ○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |
|--------------------------------|

3. 教科に関する調査結果の概要

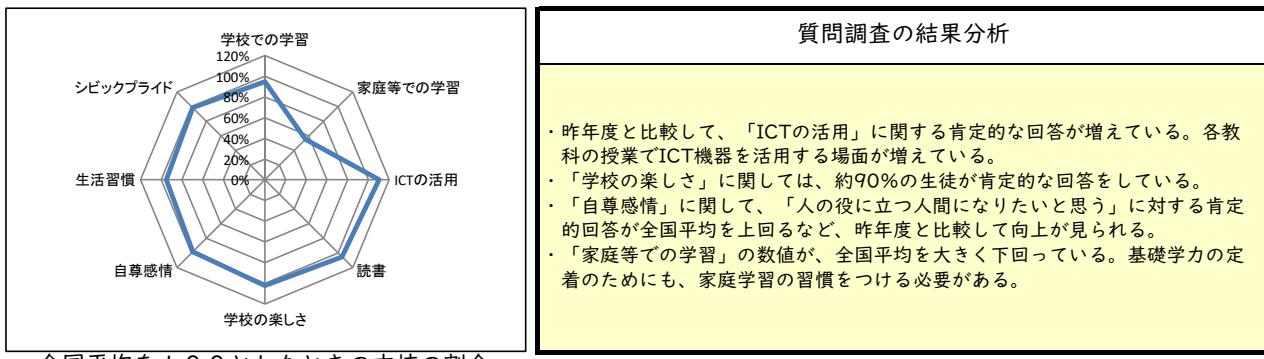
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、理科）の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	提示された発言や構成の意図や効果を問う問題については、全国平均を上回っている。一方で、自分なりに助言を考えて書くような問題には課題があった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・論理の展開に注意して話の構成を工夫する問題	・表現の効果について根拠を明確にして考える問題
	努力が必要な問題	・資料や機器を用いて、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	既に分かっている事柄を基に新たな内容を見出す力を問う問題については、全国平均を上回っている。一方で、語句の意味を正しく理解していれば解答できる問題で、設問の意味を理解できずに不正解となる傾向があった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・既習事項を活用して、論理的に考察する力や、数学的に推論する力を問う問題	
	努力が必要な問題	・数学で用いられる語句の意味を正しく理解し、それを基に適切な数値を設定したり計算したりする問題	
理科	全体的な傾向や特徴など	「粒子」を柱とする領域、「エネルギー」を柱とする領域の知識・技能を問う問題については大きく全国平均を下回っているものが見られた。その他の領域の問題についてはどの観点についても大きな差があるものはなかった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する問題	
	努力が必要な問題	・理科の知識及び技能が身に付いているかどうかをみる問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 教え合いや学び合いによる協働的な学習が定着しているが、自分の考えを表現することに課題が見られるので、授業の中で、少人数での意見交換等を通じて、自信をもって自分の意見を表明できるような取組を行う。
- 引き続き「学習の3か条」を意識した授業を継続する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 望ましい生活習慣や家庭学習の定着のための啓発を行う。
- 基礎学力の定着を目標とした課題や自身の興味・関心に基づく探究活動に関する課題等、多様な課題を通じて家庭学習に意欲的に取り組む習慣をつける。